



⇒E-mail fureainpo@gmail.com

⇒ホームページ

<http://www.fureai-support.jp/>



12・1月号
令和6年11月27日

- 法 人 事 務 所 ・ ア ト リ エ TEL 0244 (36) 5420
〒976-0042 相馬市中村字北町1-8 FAX 0244 (32) 0965
- デイサービス友遊(北 町) TEL 0244 (26) 5424
- デイサービス友遊(南飯渕) TEL 0244 (36) 3582
- 相馬市中央児童センター(ポニー・ことり) TEL 0244 (35) 2008
- 飯豊小放課後児童クラブ(ひまわり) TEL 0244 (37) 8870
- 日立木小放課後児童クラブ(めだか) TEL 0244 (35) 3400
- 磯部小放課後児童クラブ(げんき) TEL 0244 (32) 1787
- 八幡小放課後児童クラブ(なのはな) TEL 0244 (26) 9011
- 相馬こどものみんなの家 TEL 0244 (35) 4700

今年も気候変動の影響か、地球温暖化が進み、季節は秋になっても暑い日が続きました。それでもアトリエでは真っ赤に色づいた目ぐすりの木の葉、黄色に染まったイチョウの葉に秋を感じられ、移ろいゆく季節を楽しめました。北町アトリエ下の蓮池には、昨年よりも早く10月末に白鳥が飛来しました。毎年変わらぬ光景には安堵します。年末に向けて何かと気ぜわしい時期ですが、子ども達にとっては、冬休み・クリスマス・お正月・お年玉… 寒い中にも楽しいが盛りだくさんです。皆様が、良いお年をお迎えできますよう、お祈り申し上げます。



混色練習-カメ(未就学児)



おおきな木-秋編(低学年)



油絵(高学年)



自画像(6年生)

10・11月のかがぞうけいきょうじつでは…

未就学児：絵具を使って混色の練習！

はらぺこあおむしは青とレモン色の絵具。ハロウィーンのかぼちゃ赤と黄色の絵具。かめは3色以上の絵具を使って…と、それぞれ自分の思い描く色作りに挑戦。

驚くほど真剣に集中して、楽しかった～と満足げな笑顔を見せる子ども達に、私たちもほっこり温かい気持ちに…。

1・2年生：大きな木を描こう(切りはり絵) -秋編

自然を観察して科学的な目を育てながら、紅葉した目薬の木の葉っぱからきれいを感じて表現。新緑とはまた違った混色で色を作る。木の色も観察し色を作る。木の部分はブロックに切ったものをいかに大きな木に見せるか考え貼りあわせていき、次に形どった葉を切り張り付けて、紅葉した大きな木の完成。

3年生～：油絵「いろいろなモチーフに挑戦」

毛ガニ、魚、牛骨、花、カボチャ、リンゴ、柿、カメ…自分で描いてみたいモチーフを選んで、じっくり観察しながら表現しました。3年生は2度目となる油絵を道具の使い方を確かめながら取り組みました。4年生以上は構図を意識させながらダイナミックに表現しました。水彩画とは違った油絵の良さを見つけたね。

6年生：自画像制作

毎年恒例になっている6年生のカリキュラムの自画像。じっくり鏡を見つめ自分観察。「鏡よ鏡、鏡さん、私の心も映してね。」元教室生の相馬中央病院医師立谷陽介先生の手ほどきを受け、下絵を描きました。初めて会う先生にドキドキ…陽介先生も自分で描くよりも教えるほうがたいへんだったかも…ね。

12・1月の活動予定 & 事務連絡

◎12月 ・カレンダー作り アルバムの絵

※アルバム用の写真撮影もありますので休まないで下さい。

◎ 1月 ・陶芸 お守りの鈴

<12月のご請求> 月会費に加えて
・アルバム代 4,600円

< 1月のご請求> 月会費

福祉体験・介護実習を終えて・・・

テクノアカデミー浜校建築科2年生の6人が、11月11日12日にデ イ-ビ ス友遊で、介護実習で福祉体験をしました。

浜校生からの贈り物



名前入りコースター

利用者の皆さんから、今後の社会人としての生き方につながるような為になる話を聞き取り、心に刻んだようです。孫やひ孫のような学生さんからは、若



さみなぎるエネルギーをいただきました。2日目の最終日のお見送時には、分かれを惜しみ泣いてしまうおばあちゃんもいました。「又、遊びに来ますね。」と、言ってくださり、スタッフも嬉しかったです。

食育・おふくろの味一糶と味噌づくり体験

日本の伝統的な味を代表する味噌づくりを、11月17日(日)北町・南飯渕アトリエのお友達が、合同で体験しました。

今回で34回目になる味噌作り、200キロの味噌を仕込みました。糶作りは相馬の老舗山形屋のおばあちゃん京子さんの手ほどきで、デイサービスのおばあちゃん・おじいちゃんに担当していただき、今までにないきれいな糶の花を咲かせました。子育てと同じように、気の抜けない観察と作業でしたが、満開の糶の花が咲いた時の喜びはひとしおでした。

アートな味噌作りに挑戦

4歳から社会人まで、色とりどりのカラフルなバンダナの子供たちが、ワクワク、ドキドキしながら今年も「味噌づくり」に挑みました。

まず、米麴と塩を混ぜ合わせます。次に、4時半から2時間火を炊き、その後2時間蒸らした大豆を機械でつぶし、さらに塩を混ぜた糶に混ぜ合わせる結構大変な作業が続きました。それでも、五感を刺激しながら、粘土遊びのような感触を楽しみながら混ぜ合わせ、アート作品作り。あっという間に来年の干支の蛇等完成。仕上げはオニギリ握ってタルにつめこみました。大変な作業も、楽しい時間になりました。おやつは大豆入味噌蒸しパンと大豆煎餅。

「味噌」は良質なタンパク源です。そして、腸内の善玉菌を増やし活性化させる健康食品的な役割も持つ発酵食品です。味噌で免疫力アップ！素晴らしい発酵食品です。みんなで仕込んだ200キロの味噌はおも〜い重石をして味噌小屋にねかせました。

3月の修了式には美味しく熟成された先輩が作った3年味噌、5年味噌をお渡しします。お楽しみに・・・ね。

今回で味噌作りが3、4回目というベテランの子は、初挑戦の子や幼い子の面倒をよくみていました。言われないとできない、指示されたことしかできない受け身の子が増えていく中、味噌作りの中でもリーダーが確実に育っていると感じ、味噌の仕込み以上に嬉しくなりました。

(記 まり子)

福島民友新聞記事

みそ造りで食文化に触れる



NPO 法人ふれあいサポ
ート館ア
トリエは
17日、相
馬市の南
飯渕アトリエでみそ造り体験を行い、子どもたちが伝統の食文化に触れた＝写真。

北町アトリエと南飯渕アトリエに通う児童らが参加。児童が育てたコメから作ったこうじに、煮てすりつぶした市内飯産産の大豆を合わせた。参加者はこうじと大豆を素手で混ぜ合わせ、感触を確かめた。

みそは3～5年ほど寝かせ、子どもたちが家庭に持ち帰ったり、アトリエで振る舞うおやつに使用したりするという。



味噌豆つぶし機を回したよ！

今年も大収穫 474本！ 班対抗イモ掘り大会



秋晴れの下でサツマイモ掘ったよ！

10月20日、秋晴れのサツマイモ掘り日和。約30人の歓声が畑いっぱいに広がりました。今年は、まず倉本先生のサツマイモ畑からほります。班ごとに並んで出発しました。小ぶりの芋だったこともあってとても掘りやすく、楽しそうに次々と出てくる芋を見つけては「あった！」と声を上げていました。

班ごとに記念写真も撮りました。

サツマイモを各班のケースに入れて、次はいよいよいつもの青田さんの畑に移動。今度は、協力しないと掘れないほどの大きな芋ばかり。何分もかかってやっと芋を掘り起こした時の得意げな顔。土やツルや根っこ、虫たち、芋掘りから学べることはたくさんあります。五感を働かせて自然が先生、友だちになるのです。

「1番重いで賞」は何と、1本で3,200グラムもありました。新生児なみの重量です。そして、おやつはみんなで田植した新米のおにぎりや大学芋をほおぼりながら、今年も藤尚子先生の絵本の読み聞かせで疲労回復。子どものパワー充電は速いです。

毎回体験活動を実施して感じることは、高校生や中学生がリーダーになり、幼稚園児から小学生までの縦割り班で活動することの価値の大きさです。大きな子が小さな子の面倒をみている姿を目にすると、「あーいいなあ」と、絵画教室のよさを感じます。そして、以前は世話をしてもらっていた子が、優しく声をかけたり、手伝ってあげたりする姿に『子どもの成長ってすごいな』と感動してしまいます。この縦割り集団は、学校では体験することはできないことです。絵画教室ではリーダーが確実に育っていると感じ、嬉しくなりました。

迎えに来たお家の人に、袋いっぱいに詰め込んだサツマイモを誇らしげに見せる子どもたちの笑顔が、とてもステキでした。

(記 裕子)